

# 令和 8 年度事業の計画について

## 1. 令和 7 年度の振り返りと現状分析

次年度の計画策定にあたり、これまでの実績と運営状況から当センターの「強み」と「今後の課題・次なるステップ」を整理しました。

### ① 今後も伸ばしていくべき成果（当センターの強み）

|               |   |
|---------------|---|
| 強み① コーディネート機能 | 企業・福祉施設の連携による雇用創出、講座を契機とした防災士会への加入等、拠点を紹介した具体的な協働事例が蓄積。単なる場所提供にとどまらず、関係者間の媒介機能が発揮されている。 |
| 強み② 伴走支援機能    | 助成金申請の伴走、専門機関（らづBiz 等）への同行、広報物の実務支援など、立上げ期から事業構築までの継続支援が定着。新規団体登録の増加や地域課題型プロジェクトの始動に寄与。 |

### ② 顕在化された課題と次なるステップ

|              |  |
|--------------|--|
| 課題① 自立支援の強化  | 手厚い実務支援を維持しつつ、スキル定着・自走化を並行して促す仕組みが必要。        |
| 課題② 参加機会の拡充  | 育児・介護・就労等で対面参加が難しい層への対応が不十分                  |
| 課題③ 利用者層の橋渡し | 一般の有料利用（企業研修・法律相談等）と市民活動の接点が弱く、登録や参画に繋がりにくい。 |

## 2. 令和 8 年度 基本方針

- ・参加機会の拡充：対面とオンラインを併用し、誰もが参加しやすい環境を整備する。
- ・橋渡しの強化：一般利用者との接点を市民活動の認知・参画に繋げる導線を整える。
- ・自立支援の体系化：伴走支援に加え、資金調達・ICT 発信のスキル獲得を支援する。
- ・拠点機能の見える化：事例・活動紹介の可視化を通じ、センターの役割と価値を分かりやすく伝える。

## 3. 令和8年度 主要事業計画（自主事業）

## 令和8年度 木更津市市民活動支援センター事業計画書

| 分類     | NO | 自主事業名                    | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 頻度  | 年回数 |
|--------|----|--------------------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|-----|
|        |    |                          | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月  | 月  | 月  | 月 | 月 | 月 |     |     |
| イベント事業 | 1  | 全登録団体交流会                 |   |   |   |   | ○ |   |    |    |    |   | ○ |   | 年1回 | 1   |
|        | 2  | SDG, s推進事業               |   | ○ |   |   |   |   |    |    |    | ○ |   |   | 年2回 | 2   |
|        | 3  | 身近な人権を考える<br>ワークショップ     |   |   |   |   |   | ○ |    |    |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 4  | ボランティア市民活動<br>マッチングプログラム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○ | ○ | ○ | 通年  | 12  |
|        | 5  | 市民活動スキルアップ講座             |   |   |   |   |   |   |    | ○  |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 6  | みらいラボフェスタ                |   |   |   |   |   |   |    | ○  |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 7  | 地域を学ぶ、木更津学講座             |   |   |   |   |   |   | ○  |    |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 8  | プログラミング体験会               |   |   |   | ○ |   |   |    |    |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 9  | 地域で育てる子育て交流会             |   |   |   |   | ○ |   |    |    | ○  |   |   |   | 年2回 | 2   |
|        | 10 | 地域のふれあい清掃活動              |   | ○ |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 11 | 市民協働事業                   | ○ |   |   |   |   | ○ |    |    |    |   |   | ○ | 年3回 | 3   |
|        | 12 | 自然とふれあう<br>環境体験プログラム     |   |   | ○ |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 年1回 | 1   |
|        | 13 | 子育て支援談話会                 |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   | ○ |   | 年1回 | 1   |
|        | 14 | 防災・減災講座                  |   |   |   |   |   |   |    |    |    | ○ |   |   | 年1回 | 1   |
| 販売事業   | 15 | きさらづみらいCAFE              | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○ | ○ | ○ | 通年  | 12  |
|        | 16 | 物品販売                     | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○ | ○ | ○ | 通年  | 12  |

## 資料2

| 事業名                                | 目的・内容・対象者等(要約)   | 実施時期等   |
|------------------------------------|--|---|
| 全登録団体交流会                           | 登録団体同士のつながり構築と情報共有、地域課題の解決に向けた協議。<br>木更津社会福祉協議会との協働。<br>対象:登録団体、社協ボランティアセンター登録団体           | 令和8年8月(年1回予定)<br>場所:2階 第一会議室<br>参加費:無料(定員40名)             |
| SDGs推進事業                           | SDGsに沿ったワークショップ等を通じ地域課題に自主的に取り組む人材を育成。<br>5月:海浜清掃、1月:エコクラフト教室。<br>対象:市民・企業・登録団体・関係機関       | 令和8年5月、令和9年1月(年2回予定)<br>場所:鳥居崎海浜公園、みらいラボ<br>参加費:無料(定員20名) |
| 身近な人権を考えるワークショップ(ダイバーシティ・カードゲーム大会) | ゲームを通じて多様性や他者の視点を体験し、人権意識と共生社会づくりへの理解を深める。<br>対象:市民  | 令和8年10月(年1回予定)<br>場所:2階 第一会議室<br>参加費:無料(定員20名)            |
| ボランティア市民活動マッチング                    | 団体のPR力向上ワークショップを行い、作成した紹介チラシを掲示して市民と団体をマッチング。<br>対象:登録団体・市民                                | 随時<br>場所:支援センター、金田地域交流センター、市内各公民館<br>参加費:無料               |
| 市民活動スキルアップ講座                       | 市民活動の人材育成と組織基盤向上。<br>資金調達講座を開催し寄付や助成金など多様な資金調達方法を学ぶ。<br>対象:登録団体・市民                         | 令和8年11月(年1回予定)<br>場所:2階 第一会議室<br>参加費:無料(定員20名)            |
| みらいラボフェスタ                          | 市民活動の周知や交流を目的とした文化祭イベント。<br>登録団体のブース(活動報告・体験・販売等)を設置。<br>対象:市民活動団体・市民                      | 令和8年11月(年1回予定)<br>場所:木更津市潮浜公園<br>参加費:500円/人               |
| 地域を学ぶ、木更津学講座                       | 地域の歴史文化を専門家から学び、駅前神社仏閣を散策するフィールドワーク。<br>対象:市民・登録団体   | 令和8年10月(年1回予定)<br>場所:木更津駅前中心市街地<br>参加費:無料(定員20名)          |
| プログラミング体験会                         | 小学生親子対象。ドローンやロボット操作を通じゲーム感覚でプログラミングと論理的思考を学ぶ。<br>対象:市民                                     | 令和8年7月(年1回予定)<br>場所:金田地域交流センター<br>参加費:無料(定員20名)           |
| 地域で育てる子育て交流会                       | 親子のコミュニケーション促進。<br>8月:親子運動会、12月:高齢者との昔遊びや餅つき。<br>対象:親子                                     | 令和8年8月、12月(年2回予定)<br>場所:木更津金田交流センター<br>参加費:500円(定員20名)    |
| 地域のふれあい清掃活動                        | 駅周辺のゴミ拾いを通じた環境改善と交流促進。学生にはボランティア証明書を発行。<br>対象:市民・登録団体・企業                                   | 令和8年5月(年1回予定)<br>場所:木更津駅西口周辺                              |
| 市民協働事業                             | 市民のスキルを活かした不特定多数に向けた講座やワークショップを展開。<br>4月:高齢者向けSNS・チラシ活用講座、<br>9月:AI活用講座、3月:読書交流会。<br>対象:市民 | 令和8年4月、9月、令和9年3月(年3回予定)<br>場所:支援センター<br>参加費:無料(定員20名)     |
| 自然とふれあう環境体験プログラム                   | 地元企業管理の農地で農業体験(農耕・収穫)を行い自然の大切さや第一次産業を学ぶ。<br>対象:登録団体・市民                                     | 令和8年6月(年1回予定)<br>場所:木更津市内農地<br>参加費:無料(定員15名)              |
| 子育て支援談話会                           | 未就学児の母親対象。孤立しない子育てネットワークづくりやストレス軽減の対話・レクチャー。<br>対象:未就学児を持つ親                                | 令和9年2月(年1回予定)<br>場所:2階 第一会議室<br>参加費:無料                    |
| 防災・減災講座                            | 防災意識向上。ハザードマップ確認とライフライン寸断時を想定したバックアップ実習。<br>対象:市民・登録団体                                     | 令和9年1月(年1回予定)<br>場所:桜井公民館<br>参加費:無料                       |
| きさらづみらいCAFE                        | 来館のきっかけ作りや利用者サービスとしてコーヒーやお菓子を販売。<br>対象:施設利用者   | 令和8年4月より通年<br>場所:1階フリースペース<br>料金:1杯100円～150円              |
| 物品販売                               | 地域PRと利用者サービスとして木更津産品や団体オリジナル商品、消耗品を販売。<br>対象:施設利用者   | 令和8年4月より通年<br>場所:1階フリースペース<br>料金:商品により異なる                 |

## 具体的な課題解決のための政策

当センターでは令和7年度の運営を通じて、3つの課題が明確になりました。

令和8年度の自主事業は、この課題への直接的な対応を軸に設計しています。

なお、全事業を無理に課題に当てはめるのではなく、「課題対応事業」（特定の課題解決を主な目的とする事業）と「基盤事業」（センターの日常的な場づくり・拠点機能を支える恒常事業）の2層に整理しています。

### 課題対応事業 一覧

◎ 主な対応課題      ○ 副次的な効果あり

| 事業名                  | 課題①<br>自立支<br>援 | 課題②<br>参加機<br>会 | 課題③<br>橋渡し | 主な対応ポイント              |
|----------------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------------|
| 市民活動スキルアップ講座         | ◎               | -               | -          | 資金調達スキル習得・団体の自走化      |
| 市民協働事業（SNS・AI活用講座等）  | ◎               | ○               | -          | ICT発信の自走化、高齢者・一般市民も対象 |
| 子育て支援談話会（ハイブリッド形式）   | -               | ◎               | -          | 育児世代の参加障壁解消・オンライン併用   |
| プログラミング体験会           | -               | ◎               | -          | 小学生親子層への新規アプローチ       |
| 地域で育てる子育て交流会         | -               | ◎               | -          | 子育て世代の交流・孤立防止         |
| 身近な人権を考えるワークショップ     | -               | ◎               | -          | 市民一般への新たな参加入口の創出      |
| 木更津学講座               | -               | ◎               | -          | 地域への関心層を市民活動へ誘導       |
| 自然とふれあう環境体験プログラム     | -               | ◎               | -          | 農業体験を通じた新規参加層の開拓      |
| ボランティア市民活動マッチングP     | ○               | -               | ◎          | 団体のPR力向上+市民との接点構築     |
| きさらづみらいCAFE          | -               | -               | ◎          | 一般来館者との自然な接点・来館動機づくり  |
| 物品販売（登録団体オリジナルグッズ含む） | -               | -               | ◎          | グッズを起点とした団体紹介・関心層開拓   |

## 課題① 自立支援

### 団体の「自立支援」強化

▷ 課題の背景：手厚い伴走支援が定着している一方で、団体自身がスキルを習得して自走していくための仕組みが十分に整っていませんでした。

令和 8 年度は、これまでの「代行・伴走型」支援を維持しながら、並行して団体が自ら運営できる力をつけるプログラムを展開します。特に「お金（資金調達）」と「情報発信（ICT 活用）」という、市民活動団体が自立するうえで共通して必要な 2 つのスキルに重点を置きます。

### 主対応 市民活動スキルアップ講座（11 月）

「資金調達」をテーマに、寄付・助成金・クラウドファンディングなど多様な資金調達の手法を学ぶ講座です。お金の確保に悩む団体が自立的に運営基盤を構築できるよう支援します。

### 主対応 市民協働事業（4 月・9 月・3 月）

SNS・チラシ活用講座（4 月）や市民活動における AI 活用講座（9 月）を開催し、ICT を用いた情報発信の自走化を促進します。団体が自力で広報・発信できる力を身につけることを目的とします。なお、3 月の読書交流会は市民一般を対象とした参加機会の拡充にも寄与します。

## 課題② 参加機会

### 新たな参加層の開拓とアクセシビリティの向上

▷ 課題の背景：育児・介護・就労等の事情で対面参加が難しい方や、市民活動に馴染みのない若年層・子育て世代などへのアプローチが不十分でした。

令和 8 年度は、既存の設備（ウェブカメラ等）を活用したオンライン・ハイブリッド対応を進めるとともに、これまでリーチできていなかった層（親子・子育て世代・地域に関心を持つ市民など）が自然に参加できる事業を集中的に展開します。

### 主対応 子育て支援談話会（2 月）

未就学児を持つ親を対象に、孤立しない子育てネットワーク作りとストレス軽減を目的とした対話・レクチャーを実施します。既存設備を活用した「ハイブリッド形式（対面＋オンライン同時開催）」で行うことで、外出が難しい育児世代でも参加できる環境を整えます。

### 主対応 プログラミング体験会（7 月）

小学生の親子を対象に、ドローン操作を通じてゲーム感覚でプログラミングと論理的思考を学ぶ体験会です。親子とセンターの最初の接点として機能させます。

### 主対応 地域で育てる子育て交流会（8 月・12 月）

8 月は親子協力型の運動会、12 月は高齢者との昔遊び等を実施します。世代を超えた交で、子育て世代の孤立防止と地域コミュニティへの繋がりを促します。

**主対応** 身近な人権を考えるワークショップ（10月）

「ダイバーシティ・カードゲーム」を通じ、多様性の理解と共生社会づくりを考えます。特定のテーマ関心層だけでなく、市民活動に馴染みのない一般市民が気軽に参加できる入口となります。

**主対応** 木更津学講座（10月）

地域の歴史・文化を専門家から学び、木更津駅前の神社仏閣を巡るフィールドワークを実施します。地域への関心を持つ市民が市民活動へと関わりを深めるきっかけを創ります。

**主対応** 自然とふれあう環境体験プログラム（6月）

地元企業管理の農地で農耕・収穫体験を行い、木更津の第一次産業と自然の大切さを学びます。屋外・体験型の内容により、これまで室内事業に参加しにくかった層へのアプローチを図ります。

**課題③**  
橋渡し 一般利用者と市民活動をつなぐ「導線」の整備

▷ 課題の背景：企業研修・法律相談等で来館する一般利用者と市民活動との接点が弱く、登録や参画につながりにくい状態が続いていました。

令和 8 年度は、センターを訪れたすべての人が「ここで市民活動が行われている」と自然に気づき、興味を持てる仕掛けを整えます。押しつけではなく、日常的な接点を通じて「関心」から「参画」へとつなげる導線を育てます。

**主対応** ボランティア市民活動マッチングプログラム（随時）

登録団体の PR 力向上ワークショップを行い、作成した紹介チラシを市内各地域交流センター等に掲示します。市民が活動を知り、団体と出会う接点を日常的に整備します。なお、団体の PR 力向上という観点から、課題①（自立支援）への副次的効果も期待できます。

**主対応** きさらづみらい CAFE（通年）

1 階フリースペースにてコーヒー・お菓子を販売します。来館のきっかけ作りと利用者サービスを兼ね、企業研修や法律相談で訪れた一般来館者が市民活動の雰囲気自然に触れられる空間を演出します。

**主対応** 物品販売（通年）— 登録団体オリジナルグッズの新展開 —

木更津産品・消耗品に加え、令和 8 年度より登録団体のオリジナルグッズを新たに取り扱います。グッズには団体名・活動紹介・QR コード（SNS または団体紹介ページへのリンク）を記載した POP を必ず併設し、購入という行為が自然に「団体を知る」きっかけとなる陳列設計を行います。

また、グッズを購入した来館者には、関連する講座・イベントの案内チラシを同

封することで、物販を起点とした継続的な情報接触の仕組みを整えます。グッズ販売の実績（品目別売上・来館者属性等）は登録団体へフィードバックし、団体の広報改善にも活用します。

### 基盤事業（センターの場づくり・拠点機能の維持）

以下の5事業は、特定の課題への直接対応を主目的とするものではなく、センターとして継続的に担うべき「場づくり」「地域との関係維持」「認知向上」を目的とした恒常事業です。これらの活動が土台となることで、課題対応事業の効果がより広く・深く発揮されます。

- **全登録団体交流会（8月）** - 団体間のつながり構築・情報共有・協議の場。木更津社会福祉協議会との協働。
- **SDGs 推進事業（5月・1月）** - 海浜清掃・エコクラフト教室を通じた環境人材育成と持続可能な地域づくり。
- **みらいラボフェスタ（11月）** - 潮浜公園での文化祭イベント（目標130名以上）。センターと市民活動の認知向上・発信の場。
- **地域のふれあい清掃活動（5月）** - 木更津駅西口周辺のゴミ拾い。地域コミュニティとの関係維持・ボランティアの入口。
- **防災・減災講座（1月）** - ハザードマップ確認・パッキング実習。防災意識向上と市民活動団体の増加に寄与。

### 【総括】

令和8年度の事業計画では、これまでの取組で強みとして認識された**コーディネート機能**と**伴走支援の蓄積**を基礎に、“参加機会の拡充”“橋渡しの仕組みづくり”“自立を支える支援体系”“拠点機能の可視化”という4つの方向性を中心に、センター運営の質をさらに高めていきます。

令和7年度の実績から、①オンライン対応の不足、②一般利用者と市民活動の接点の弱さ、③個別支援が手厚い一方で自立支援の仕組みが弱いといった課題が明確になりました。次年度は、これらの課題に対し、**事業体系の整理**と**実施方法の標準化（特にハイブリッド運用）**を進め、誰もが使いやすく、団体が成長しやすい環境を整えます。

また、一般利用者への活動紹介や、登録団体の取り組みを見える形で発信することで、施設を利用する幅広い層に市民活動の存在を自然に届け、関心から参画へとつながる導線を育てていきます。

みらいラボは、市民活動の“拠点”であると同時に、地域内の多様な主体が出会い、協働の種が育つ場所です。

私たちは、こうした拠点の価値をさらに高め、より多くの市民活動や地域の課題解決が生まれるよう、引き続き丁寧な運営に努めてまいります。